

視能訓練士生涯教育単位表

2024年1月現在

【発表等】

開催規模	主催・認定事業	学会等の名称	筆頭	共同	講師/シンポジスト	
国内	全国	(公益社団法人) 日本視能訓練士協会	日本視能矯正学会 (口頭)	3	1	5 4
			日本視能矯正学会 (展示)	2	1	
			日本視能矯正学会 生涯教育セミナー			4
			総会に伴う講演会と研修会	3	1	4 3
		(公益財団法人) 医療研修推進財団	実習施設指導者等養成講習会			5
		※1 一覧表の学会(口頭)	3	1	5 4	
		※1 一覧表の学会(展示)	2	1		
		※2 一覧表の学会 (口頭・展示)	2	1	5 4	
		※4 の講習会・研修会			5 4	
		協会が共催または後援する学会の視能訓練士プログラム	2	1	5 4	
	協会が共催または後援する事業	※6 協会が共催または後援する会	2	1	5 4	
		※7 一覧表の学会	2	1		
地方	認定事業	地域視能訓練士会	1		3	
国際	IOA加盟国	※3 一覧表の学会 (口頭)	4	1	6 5	
		※3 一覧表の学会 (展示)	3	1		
		IOA加盟国主催学会	2	1	4 3	

【誌上发表】

	発行機関	掲載誌等の名称	筆頭	第2	第3
邦文	(公益社団法人) 日本視能訓練士協会	日本視能訓練士協会誌	5	3	1
		※1、2 関連雑誌	5	3	1
欧文	※3	※3 関連雑誌	6	3	1
	※5	※5 その他の雑誌	6	3	1

【学会参加】

開催規模	主催・認定事業	学会等の名称		
国内	全国	(公益社団法人) 日本視能訓練士協会	日本視能矯正学会	6 (2011年度までは4)
			日本視能矯正学会 生涯教育セミナー	1
			日本視能矯正学会 認定視能訓練士セミナー	1
			総会に伴う講演会	1 (※9)
			総会に伴う研修会	1 (※9)
		(公益財団法人) 医療研修推進財団	実習施設指導者等養成講習会	6 (2011年度までは8)
		※1 一覧表の学会		4
		※2 一覧表の学会		2
		※4 一覧表の学会		1
		協会が共催または後援する学会の視能訓練士プログラム		1
	協会が共催または後援する事業	※6 協会が共催または後援する会	1日1単位・2日以上3単位 ※2日以上で分割可能な場合 1日1単位	
		※7 一覧表の学会	1	
地方	認定事業	地域視能訓練士会	1	
国際	IOA加盟国	※3 一覧表の学会	5	
		IOA加盟国主催学会	3	

【その他の単位取得】

国内	全国	(公益社団法人) 日本視能訓練士協会	指定論文への解答	0.5
			施設見学	1
			指導者育成研修会	1項目につき1
			※8 臨地実習受け入れ	受け入れ1名につき1単位

単位に関する留意事項

1. 発表者には出席の単位も加算されます。
2. 2 つ以上の学会が合同で行なわれる場合でも同時進行の場合は片方の単位とし、日数の増加があるときは考慮します。なお、すでに単位申請が認められている学会との共同開催であったとしても単位申請が認められていない学会名での単位申請はできません。
3. 地域の視能訓練士会などが主催する勉強会等については所定の手続きにより生涯教育事業の認定を受けてください。参加については3時間以上を1単位、1時間30分～3時間未満は0.5単位とします。1年間に複数回参加しても取得単位は合わせて1単位までとします。発表の単位についての制限はありません。
4. 協会が主催する施設見学は年1回1単位取得できます。
5. 国際学会では参加証明書もしくは領収書のコピーを単位申請時に提出してください。
6. 認定視能訓練士および認定専任教員の更新条件として1年間に最低0.5単位以上の取得が必要です。
7. 日本視能訓練士協会誌の指定論文を読み、協会誌に添付されている問題の解答を事務局に送ることで0.5単位を取得できます。
8. 単位表中の※1～※7については下記事業一覧を参照してください。(2013年4月以降、下記学会に限る)

※1 一覧表		
日本眼科学会総会	日本臨床眼科学会	日本弱視斜視学会総会
日本小児眼科学会総会	日本神経眼科学会総会	日本医学会総会
日本ロービジョン学会総会		

※2 一覧表 (2日以上開催の学会)		
日本眼科手術学会総会	日本白内障学会総会	日本糖尿病眼学会
日本白内障屈折矯正手術学会 (JSCRS 学術総会)		日本眼光学会総会
日本緑内障学会	日本眼薬理学会	日本コンタクトレンズ学会総会
日本視野画像学会学術集会 (2013年度開催以降)		日本涙道・涙液学会
日本眼感染症学会	日本眼炎症学会	日本眼循環学会
角膜カンファレンス・日本角膜移植学会		日本眼腫瘍学会
日本臨床視覚電気生理学会	日本網膜硝子体学会総会	日本リハビリテーション医学会
日本近視学会総会 (2018年度開催以降)		日本小児神経学会
日本リハビリテーション連携科学学会		日本発達障害学会
日本小児精神神経学会	日本小児保健協会学術集会	日本臨床神経生理学会
日本医学教育学会	日本保健医療福祉連携教育学会	日本LD学会
日本特殊教育学会	全国視能訓練士学校協会教員研修	
日本心理学会	日本認知心理学会	日本発達心理学会
日本神経心理学会	日本教育心理学会	日本応用心理学会
認知神経科学会	応用物理学会	日本光学会

※3 一覧表 (国際学会) ※ワンデーパスでの学会参加は1単位取得		
国際視能矯正学会 (IOA congress)	国際斜視学会 (ISA)	ヨーロッパ斜視学会 (ESA)
国際ロービジョン学会 (ISLRR)	国際眼科学会 (WOC)	米国眼科学会議 (AAO)
視覚と眼科学協会会議 (ARVO)	国際視野画像学会 (IPS)	
北米神経科学会 (Society for Neuroscience)		
Organization for Human Brain Mapping (OHBM)		
国際近視学会 (International Myopia Conference)		

※4 2013 年度以降の日本弱視斜視学会講習会・日本小児眼科学会講習会はそれぞれ 0.5 単位ずつ、合同講習会は 1 単位

2013 年度から 2020 年度までの日本ロービジョン学会研修会 1・2 はそれぞれ 0.5 単位ずつ ただし 2017 年および 2021 年度以降開催は学会会期中に開催されたため単位認定不可

※5 査読付き

※6 一覧表 ※類似した名称のセミナーがありますのでご注意ください	
眼光学チュートリアルセミナー	眼光学学会主催チュートリアルセミナー
視覚生理学基礎セミナー	日本産業・労働・交通眼科学会 (第 64 回)
視能訓練士のためのロービジョンケア講習会 (第 1 回:2015 年 9 月、第 2 回:2016 年 10 月)	
ロービジョンケア講習会 (第 3 回:2017 年 9 月、第 4 回:2019 年 2 月)	
日本医療マネジメント学会 (2016 年度以降)	
視覚障害リハビリテーション研究発表大会 (第 21 回以降、ただし第 26 回は除く)	
視能訓練士ロービジョンケア研修会 (2019 年度以降)	
九州眼科学会 (第 89 回以降)	関東甲信越眼科学会 (第 55 回、第 59 回)
近畿弱視斜視アフタヌーンセミナー (第 19 回以降)	

※7 一覧表 (1 日開催の学会)
チーム医療推進学会 (2020 年度以降)

※8 臨地実習受け入れ
過去に医療研修推進財団 (PMET) による講習会を受講済みの方、もしくは 2023 年度から開催される協会主催の臨地実習指導者講習会を受講された方が臨地実習の指導を行なった場合に申請可能です。実習 1 回 (20 日以上) 受入につき 1 単位、年間 2 単位が上限となります。

※9 2023 年度までは講演会と研修会への参加で 5 単位

注意事項

1. 2013年4月現在、協会が協賛・共催する学会とは2012年度以降の日本臨床眼科学会と2012年度以降の日本眼科学会総会の2学会です。両学会については学会参加単位の他に視能訓練士プログラムの参加で1単位が認められます。
なお2012年11月までに開催された※1、2の学会における視能訓練士プログラムのみ参加の場合は、サnderパスなどの領収書のコピーの提出をもって1単位が認められます。
2. 「視能訓練士のためのロービジョンケア講習会」と「ロービジョンケア講習会」と「実習施設指導者等養成講習会」は、修了証のコピーをつけてください。
施設見学研修をされた方は施設見学研修実施証明証のコピーをつけてください。
3. 第74回日本弱視斜視学会総会(2018年開催:荒天により2日中止)は、第74回日本弱視斜視学会総会の出席者は4単位(通常通り)、発表(口頭・展示)も通常通り単位取得できます。また基礎教育プログラムⅢ(視能矯正)の免除学会としても通常通り認められます。なお第34回日本弱視斜視学会講習会に関しては、参加および演者とも単位が認められません。
4. 生涯教育単位表に掲載されている学会等のうち2020年度以降にオンライン開催された学会等(会場開催との併用を含む)の単位につきましては、①学会名、②参加者氏名、③参加区分もしくは参加登録料の3点がもれなく記載されているひと続きの書類のコピー(例:ネームカード、参加証明書、参加登録料領収書)を添付して申請していただければ、規定通り単位取得可能です。